

政策シート

(政策名) 卸売市場の活性化による市民の食生活の安定
(予算費目名) 中央卸売市場事業特別会計

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 世界の一步先を行く産業・サービスの創造

◇政策の概要

安全で安心な生鮮食料品等を市民に安定供給するため、時代の要請に対応した市場運営及び施設の整備を行う。

◇関連するSDGsのゴール

②飢餓									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	797,867	565,586	703,428	731,251	660,656
決算	755,848	527,595	657,793	700,839	
人件費(A)	76,800	73,400	80,400	79,000	73,600
報酬(B)	307	260	281	281	459
年間経費(予算又は決算+A+B)	832,955	601,255	738,474	780,120	734,715

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
市場経営展望を経営戦略へ統合し策定する			目標	策定	工程表の作成	工程表の作成	協議、調整	策定
			実績	作成作業完了	基礎調査実施	情報収集	協議、調整	策定
卸売市場法改正による業務条例の改正			目標				協議、調整	改正
			実績				協議、調整	改正
			目標					
			実績					

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

安全で安心な生鮮食料品等を市民に安定供給するため、時代の要請に対応した市場運営及び施設の整備を行う。

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

安全で安心な生鮮食料品等を市民に安定供給するため、時代の要請に対応した市場運営を行うために第10次施設整備計画により、青果買荷積込所新築工事の第3期工事及び第4期工事を行った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	中央卸売市場事業				○	734,715	660,656	7.0	3.0	1.0	4.0	459
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						734,715	660,656	7.0	3.0	1.0	4.0	459

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 中央卸売市場事業

◇事業目的・事業対象

安全で安心な生鮮食料品等を市民に安定供給するため、時代の要請に対応した市場運営及び施設の整備を行う。

◇事業の概要

生鮮食料品流通の拠点として、施設の適切な維持管理・保守により円滑な市場の管理運営を行う。平成27年度に策定した「市場経営展望」は、開設者及び市場関係者が一体となり、市場の位置づけや役割、機能強化の方向性、市場施設の整備や運営のあり方等について、経営戦略的視点を持って策定する健全な市場運営のための指針である。今後、「市場経営展望」の中で示した計画や方向性を総務省から求められている中長期的経営の基本計画「経営戦略」に統合し策定していく。また、卸売市場法の施行に合わせ業務条例改正や事務手続きを行っていく。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H27	—	特別会計	自治事務(その他)	卸売市場法・浜松市中央卸売市場業務条例	—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	797,867	565,586	703,428	731,251	660,656
	決算	755,848	527,595	657,793	700,839	
	国・県支出		2,102	29,694	42,601	
	市債					
	その他	386,512	150,592	241,375	291,142	293,730
	一般財源	369,336	374,901	386,724	367,096	366,926
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)		307	260	281	281	459
人件費 (千円)		76,800	73,400	80,400	79,000	73,600
人工	正規	8.0	7.0	8.0	7.0	7.0
	再任用(h31)	2.0	3.0	3.0	6.0	3.0
	再任用(h26)	2.0	2.0	2.0		1.0
	非常勤	3.0	3.0	3.0	3.0	4.0

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓	○ 2c	⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

生鮮食料品流通の拠点として、施設の適切な維持管理・保守により円滑な市場運営を行い、市場の適正な機能を確保する。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
市場経営展望を経営戦略へ統合し策定する							
目標値	策定	工程表の作成	協議、調整	協議、調整	経営戦略策定		
実績値	作成作業完了	基礎調査実施	情報収集	協議、調整			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
卸売市場法改正による業務条例の改正							
目標値				協議、調整	条例改正		
実績値				協議、調整			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

生鮮食料品流通の拠点として、施設の適切な維持管理・保守により円滑な市場の管理運営の実施。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

生鮮食料品流通の拠点として、施設の適切な維持管理・保守により市場の円滑な管理運営を行った。
卸売市場法の改正により、業務条例改正の前段として市場関係者へのヒアリングや意見交換、調整を行い、取引ルールの方針を決定した。
また、他市場の業務条例改正の進捗状況等の情報収集や研修会等へ参加した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

生鮮食料品流通の拠点として、施設の適切な維持管理及び施設整備を行い適切な管理運営を実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・生鮮食料品流通の拠点として、適切な施設の維持管理及び施設整備を継続し管理運営を進める。
- ・市場運営の効率化や施設の再整備について市場関係者と協議、調整を進める。
- ・業務条例の改正と中央卸売市場の認定申請を行う。
- ・全国中央卸売市場協会と連携を図り、情報収集に努める。

政策シート

(政策名) 卸売市場の活性化による市民の食生活の安定
(予算費目名) と畜場・市場事業特別会計

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！ 変革を遂げる農林水産業

◇政策の概要

市民の食のニーズに応えるため、地産地消を基本に良質な食肉を市民に供給し、安全・安心な食の充実を実現する。

◇関連するSDGsのゴール

②飢餓									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	268,744	253,516	381,194	320,341	346,000
決算	245,931	242,036	354,071	306,557	0
人件費(A)	37,600	38,600	38,600	42,200	42,200
報酬(B)	283	283	283	305	305
年間経費(予算又は決算+A+B)	283,814	280,919	392,954	349,062	388,505

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
市場取扱高(千円)	千円	5,000,000	目標	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000
			実績	6,147,524	5,725,177	5,307,397	5,266,197	
			目標					
			実績					

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

市民の食のニーズに応えるため、地産地消を基本に良質な食肉を市民に供給し、安全・安心な食の充実を実現する。

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り
市民の食のニーズに応えるため、地産地消を基本に良質な食肉を市民に供給し、安全・安心な食の充実を実現した。

課題

生産する食肉の品質を高め、家畜の集荷対策にプラスに働くために機械設備の老朽化対策を実施する。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	と畜場・市場事業			○		388,505	346,000	5.0	2.0	0.0	0.0	305
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						388,505	346,000	5.0	2.0	0.0	0.0	305

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) と畜場・市場事業

◇事業目的・事業対象

市民の食のニーズに応えるため、地産地消を基本に良質な食肉を市民に供給し、安全・安心な食の充実を実現する。

◇事業の概要

総務費

【と畜】 地域の産地から牛や豚を集め、と畜場法で定められた食肉衛生検査に合格したものを枝肉や部分肉として流通させる。

【セリ】 食肉の健全な価格形成のため、定められたせり割合を遵守するよう指導・監督する。

【品質管理】 品質管理者による適切な管理で、市民に安全な食肉を供給していく。

【トレーサビリティ】 個体識別番号や産地などの情報を消費者に伝わるよう食肉に識別票を付けて販売を行う。

公債費 設備投資による借入れの返済

予備費

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S28	-	特別会計	自治事務(その他)	と畜場法・卸売市場法・浜松市と畜場条例・浜松市地方卸売市場業務条例	-	0	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	268,744	253,516	381,194	320,341	346,000
	決算	245,931	242,036	354,071	306,557	
	国・県支出					
	市債			57,300		
	その他	5,568	4,091	4,353	8,430	4,737
	一般財源	139,879	126,173	156,197	157,219	152,563
	一般会計繰入金	100,484	111,772	136,221	140,908	188,700
人件費(報酬等) (千円)		283	283	283	305	305
人件費 (千円)		37,600	38,600	38,600	42,200	42,200
人工	正規	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
	再任用(h31)		1.0	1.0	2.0	2.0
	再任用(h26)	1.0				
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓	○ 2c	⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

市場による公平・公正な食肉の価格成形を確保することにより、継続的に安定した食料を供給する。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
市場取扱高(千円)					-	0	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5000000	5000000	5000000
実績値	6,147,524	5,725,177	5,307,397	5,266,197			

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

<p>総務費</p> <p>【と畜】 地域の産地から牛や豚を集め、と畜場法で定められた食肉衛生検査に合格したものを枝肉や部分肉として流通させる。</p> <p>【セリ】 食肉の健全な価格形成のため、定められたせり割合を遵守するよう指導・監督する。</p> <p>【品質管理】 品質管理者による適切な管理で、市民に安全な食肉を供給していく。</p> <p>【トレーサビリティ】 個体識別番号や産地などの情報を消費者に伝わるよう食肉に識別票を付けて販売を行う。</p> <p>公債費 設備投資による借入れの返済</p> <p>予備費</p>
--

・事業の成果と課題

<p>指標の達成度</p> <p><input type="text" value="計画通り"/></p> <p>総務費</p> <p>【と畜】 地域の産地から牛や豚を集め、と畜場法で定められた食肉衛生検査に合格したものを枝肉や部分肉として流通させた。</p> <p>【セリ】 食肉の健全な価格形成のため、定められたせり割合を遵守するよう指導・監督した結果、守られた。</p> <p>【品質管理】 品質管理者による適切な管理で、市民に安全な食肉を供給してした。</p> <p>【トレーサビリティ】 個体識別番号や産地などの情報を消費者に伝わるよう食肉に識別票を付けて販売を行った。</p> <p>課題</p>

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

日常の設備点検と老朽化対策修繕を実施したため、操業に影響する障害が発生することなくと畜場及び市場業務を運営することができた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

施設設備の保守を継続して行っていく。より安全・安心な食肉の供給拠点としてその機能を果たすべく、老朽化対策工事を進めていく。